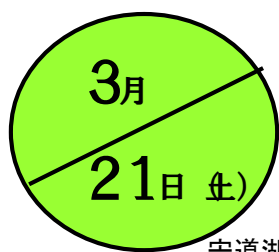


# 島根原発で事故発生！

島根原発訴訟公開勉強会

## 避難計画は本当に役に立つのか？



14:00~

松江市民活動センター 505

スピーカー 末田一秀さん



1957年大阪府生まれ。  
はんげんぱつ新聞編集委員・  
自治労脱原発ネットワークア  
ドバイザー

資料代 500円

現在、島根原発2号機をはじめ、全国で21基の原発の規制基準適合性審査が行われています。政府は、規制基準に適合しているとされ、安全性が確認された原発は稼働させると言います。ところが、田中規制委員長は「基準に適合しても安全だとは言いません」と繰り返しています。福島原発事故後に強化された規制は、原発事故を防止するためのものではなく、事故が起きたら、その事故の拡大をできるだけ防ぐための規制がほとんどなので、田中規制委員長の発言は事実です。

政府は、審査に合格したものから再稼働を

進めると言いますが、このまま再稼働されれば、再び福島と同様の事故が起きかねません。それは島根原発で起きるかもしれません。

一方で、万が一の事故が起きた場合を想定して、「原子力防災計画」や住民の「広域避難計画」が策定されています。島根原発で事故が起きると周辺30km圏内だけで約46万人の住民が避難の対象となります。福島原発事故を見ても、もっと広い地域で住民の避難が必要となってくるかもしれません。

さらに、その中には支援が必要な入院患者さんや施設入居者がたくさんいます。地震などの自然災害が重なった時に、はたしてこれだけの住民が被曝することなく、安全に避難することが可能でしょうか。考えればきりがなほどの困難な問題が山積しています。

被曝を強要され、故郷を捨ててまで、本当に原発は動かさなければならぬのでしょうか？ 原子力防災問題を長年にわたって追求してきた末田さんのお話をお聞きください。

これから何が起るの、あかあさん……



主催：中国電力・島根原子力発電所3号機の運転をやめさせる訴訟の会

連絡先：阪本090-3372-5685・メールアドレス [nonukes@my-s-pace.jp](mailto:nonukes@my-s-pace.jp)